

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520



月信
Vol.7

2021

1

JANUARY

賢治の月ごよみ

前年12月に東大病院小石川分院に入院した妹のトシの看護のため母のイチと東京で正月を迎える(1919)	1
妹シゲ、岩田豊蔵と結婚。病床の姉を置いて嫁ぐことをためらう妹を賢治は励まして送り出した(1922)	2
「オツベルと象」他、詩人尾形亀之助主催の雑誌『月曜』創刊号に掲載(1926)	3
	4
	5
雪の小岩井農場方面へ行き、「屈折率」、「くらかけの雪」を書く(1922)	6
	7
	8
	9
	10
	11
花巻の「高千代」で買ったジャンパーを羽織り、写真を撮った。後世、賢治を表す有名な写真となる(1924)	12
花巻農学校同僚の堀籠文之進の結婚披露宴が、花巻の「精養軒」で行われた(1924)	13
	14
小石川分院入院中のトシの容態が小康し、母イチは花巻に帰る(1919)	15
	16
この頃、雑誌『愛国婦人』1月号に「雪渡り」掲載(1921)	17
	18
	19
	20
	21
	22
店番の最中に突然家出をし、東京行きの汽車に乗る(1921)	23
家出後、国柱会を訪ね教導を求めるが断られ、父の友人の小林六太郎宅に身を寄せる(1921)	24
小林六太郎宅を出て本郷の稲垣信次郎方二階に間借りをする(1921)	25
	26
「文信社」にて校正係として勤務する(1921)	27
中央新聞夕刊にて「オツベルと象」が激賞される(1926)	28
	29
「農民芸術」の講義第一回が行われる。(1926)	30
	31

「おお小十郎
おまえを殺すつもりはなかった」
もうおれは死んだと小十郎は思った。
そしてちらちら青い星のような
光がそこらちめんに見えた。
「これが死んだしるしだ。
死ぬとき見る火だ。熊ども、ゆるせよ」
と小十郎は思った。

なめとこ山の熊

心象スケッチ ～賢治月ごよみ～⑦

なめとこ山の舞台である奥羽山脈遠景

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2020-2021RI テーマ



ロータリーは機会の扉を開く

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

CONTENTS

任期の前半でのエピソードと感じたこと3

国際ロータリー第2520地区
2020-2021年度ガバナー
伊藤 智仁

新型コロナ予防接種へのロータリーの関与について4

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーケ
ロータリー財団管理委員長 K.R. ラビンドラン

職業奉仕月間によせて5

職業奉仕委員長
松坂 宏造（仙台東 RC）

REPORT

第2分区インターシティ・ミーティング報告6

第2分区IM実行委員長・花巻RC会長
阿部 一郎

「鈴木俊一ガバナーエレクト激励会」の報告7

次期筆頭副代表幹事
高橋 玲二（仙台南RC）

大船渡西ロータリークラブ創立50周年記念式典

創立50周年記念実行委員長
門田 崇

コーディネーターNEWS8

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐
浅水 尚伸（越谷南RC）

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐
保延 輝文（石岡RC）

クローズアップ Service Vol.29

コロナ禍の国際奉仕活動

盛岡ロータリークラブ 国際奉仕委員長
岡村 弥

東日本大震災で得た教訓。私たちが出来る防災対策

陸前高田ロータリークラブ 幹事
柴田 見

新入会員紹介／退会会員報告／寄付報告／お知らせ 10

2020-2021年度行事予定表／奨学生レポート／編集後記 11



任期の前半での エピソードと感じたこと

国際ロータリー第2520地区
2020-2021年度 ガバナー

伊藤 智仁
Norihito Ito

明けましておめでとうございます。

昨年はコロナ禍で各クラブとも諸活動が停滞し苦戦してきたことと存じます。公式訪問では、逆にこの機会（Chance）を活用し、これまでの活動が「ロータリーの目的」と適合するよう振り返ることをお願いして参りました。進捗の程は如何でしょうか。クラブ奉仕や職業奉仕においては、「自ら関係する職業が社会で役立つように仲間とともに磨くことが出来たかどうか」。社会奉仕においては、「人々の活躍を阻害する貧困や災害等の諸条件を取り除く支援をしたかどうか」、「今後社会を後継していく若者の育成に貢献したかどうか」などです。あれもこれもと適切に該当しているクラブは無いと思います。ただし、ロータリーの冠を掲げているからには必ず一つは該当すべきです。因みに、あれもこれも該当するクラブは無いと申し上げたのは、総ての合致を是とするのでは疲れてしまうからです。例えば、忘年会や新年会は仲間と楽しい時間を過ごすことが主たる目的であって、会員同士の成長に如何ほど役立っているかまで問いはじめると息が詰まってしまいます。

- 昨年サンディエゴの国際協議会で64名の外国籍の方と名刺交換をしました。席は指定ですから隣が誰になるかは解りません。勿論、会話はポケトーク（自動翻訳機）ですから中身のある話は出来ません。その中に2440地区（トルコ共和国イズミル）のErtan Soydanさんという同期ガバナーがおりました。10月30日に起きたトルコ地震（死者100人超）

から数日して義援金要請のメールが届きました。少額ですが早々に地区より3,000ドルを送金しております。さらに、グローバル補助金による被災者支援プロジェクトの要請もございましたが、こちらは共同事業ですので回答待ちです。因みに、ロータリーの補助金申請は、承認前に開始されたものは認められないし、完了後は証憑書類を揃えた報告が必要です。故に、ロータリーの補助金の仕組みを活用するのであれば一方的な善意だけで対処することは出来ません。なお、国内の同期ガバナーにメールは届いていないそうです。

- ロータリーの友12月号にはフィリピンバギオ基金のことについて掲載されています。人として目の前の貧困を無視してはいけなと思います。ロータリーは感情論ではなく、「地道な教育支援によって地域の自立と発展を促す」という経営感覚が基にあると感じて読みました。

- 土木学会誌（我が職業分類である建設業）12月号に石川島播磨重工業㈱の社員である杉村誠さんの「ボスボラス橋（トルコ）の大規模補修工事を経験して」という記事があります。文章中に「2度のトルコ赴任を通じて、トルコ人の人材育成や橋梁の制作、架設技術の伝承など、いささかでもトルコの技術発展に貢献できたのなら幸いだと思っている」とありました。この思いこそが職業を全うすることと社会貢献の同時達成であると感じます。

新型コロナ予防接種へのロータリーの関与について（2020.12.16）

地区ガバナー 各位

平素より大変お世話になっております。

困難な時を迎えておりますが、コロナウイルス流行に地域社会で懸命に対応しているロータリー会員の活動について報告を受けるたびに、勇気づけられる思いがしております。

現在、バーチャル形式で世界をめぐる中で繰り返し耳にする質問があります。それは「私たちはコロナウイルスの予防接種にかかわるのか」という質問です。ポリオ根絶におけるロータリーの活動成果と経験を考えれば、この質問は当然であり、時宜にかなっています。

その答えは、「イエス」です。ロータリーは、今後数カ月間に重要な役割を担うことになります。

これは私たちがポリオ根絶という目標から逸脱することを意味するものではありません。ポリオ根絶は、引き続きロータリーの最優先活動であり、唯一の組織的プログラムです。ポリオの予防接種とサーベイランス（監視）活動を、今後も弱めることなく続けていかななくてはなりません。また、ポリオ根絶のために年に 5000 万ドルを集める努力も継続しなければなりません。

しかし、コロナ禍は世界で猛威を振っています。RI 理事会と財団管理委員会は合同会合を開き、ロータリーには果たすべき役割があることで一致しました。

このため、クラブに以下のことを奨励していただけますよう、皆さまにお願いいたします：

- ポリオ根絶活動での体験を基に、ワクチンの安全性と有効性に関するロータリーの知識を生かして、地域社会で予防接種に関する啓発と呼びかけを行うこと。これは、地域独自の文化やニーズに適した方法で行う必要があります。適切なメッセージと方策を生み出すには、皆さまのリーダーシップが欠かせません。
- 適切であれば、ポリオ根絶のパートナー団体である WHO（世界保健機関）、UNICEF（国連児童基金）と国レベルで協力し、予防接種を含むコロナウイルス対策をロータリーが支援できることを伝えること。
- 国レベルのロータリーの活動を支援するために、地元レベルで自治体、企業、他財団と協力すること。

ロータリー会員はこれまで、数百件ものグローバル補助金とプロジェクトを通じて、コロナウイルスに関する啓発、重要な防護具の寄贈、前線で闘う医療従事者への支援を行ってきました。皆さまの地域でこうした活動について耳にされた場合には、その活動をロータリーショーケースに掲載するよう、クラブに奨励してください（最初に My ROTARY にログインしてください。My ROTARY のメニューからロータリーショーケースを開くこともできます）。既に 3 千件以上の活動がショーケースで紹介されており、皆さまの地域での活動についてもぜひ知りたいと考えております。

最後にもう一つお願いがあります：ワクチンへの強い抵抗や誤解が広がりつつありますが、これに立ち向かうために皆さまの力をお貸しください。私たちが地域社会で啓発を行うことが極めて重要です。命を救うワクチンの力について、メッセージを広げる必要があります。

私たちは、手を取り合ってコロナウイルス流行に対応し、地域社会をサポートし、ロータリアンによる今後の活動を支えるために力を尽くしています。

こうした活動は私たち自身のため、そして未来の世代のためです。今の世代が最大の課題に直面する中で、私たちには世界を支える義務があります。

何とぞよろしくお願いいたします。

国際ロータリー会長

ホルガー・クナーク

ロータリー財団管理委員長

K.R. ラビンドラン



職業奉仕月間によせて

職業奉仕委員長

松坂 宏造 (仙台東 RC)

新型コロナウイルスは日本国内はもちろん世界中で感染者が多数発生し想像以上に感染被害が広がっております。未知のウイルスということで収束にはまだまだ時間がかかりそうです。大規模なイベントは中止や延期、企業においても時差通勤やテレワーク、Web 会議の推進など働き方改革も進み、これからは今まで以上に生活様式が変わっていく事と思います。この様な中で各ロータリークラブは例会のあり方や様々な委員会活動を試行錯誤している事と存じます。

さて、職業奉仕は「五大奉仕」の中で次のように書かれております。『奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うことが含まれる』。ここで大切なことは、ロータリアンは日々の仕事を通して生きる力の根本である自ら道徳的能力を高め、そして社会に反映させることを責務と考えて努力しているということです。すなわち、ロータリアンは日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、生きる力の根源である道徳的能力を向上させることに努めているのです。先般、各クラブがどのような職業奉仕に取り組んで

いるかアンケート結果を取りまとめました。アンケート結果からはクラブ内で会員同士の職場訪問をしたり、長年に亘り会社に功績のあった従業員を例会で表彰し従業員の意識向上に努める。また、将来を担う子どもたち（特に中学生）へ教育委員会と連携した職業講話を実践しております。このことがロータリーの理念である奉仕が「公共イメージ」をアップさせる大きなきっかけになっているのではないかと思います。また職業奉仕の理念の実行に役立つものとして、四つのテストがあります。「1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか」であります。職業奉仕で大切なのは「ロータリーは人づくり」と考えてますが、人が人を作ることはできません。すべて各人が自ら成長をしていく「自分づくり」が基本であり、ロータリーはその成長の後押しをする役目であると思います。「人づくりは自分づくりの支援の場」ととらえロータリーの発展に寄与することが必要だと考えます。職業奉仕の活動を通して各クラブが今まで以上に積極的に取り組んでくれる事を期待いたします。

REPORT

第2分区インターシティ・ミーティング報告

第2分区 IM 実行委員長・花巻 RC 会長 阿部 一郎

12月13日(日)第2分区インターシティ・ミーティングを開催しました。地区より伊藤智仁ガバナー、菊地弘尚パストガバナー、笠井昭彦パストガバナー、佐藤博文ガバナー補佐、高橋悦彌ガバナー補佐、菊池忠彦代表幹事のご出席を賜り、開催する事が出来た事に感謝申し上げます。

コロナ禍の中、開催できるかどうか危ぶまれましたが、佐藤ガバナー補佐と花巻・北上地区6ロータリークラブの会長・幹事会で協議の上、花巻3ロータリークラブが主管となり開催する事となりました。

感染拡大防止の観点から会場を6会場に分散し、花巻(花巻 RC、花巻南 RC、花巻北 RC)をホスト会場に、Zoom を活用しオンラインで、北上(北上 RC、北上西 RC、北上和賀 RC)会場、岩谷堂 RC 会場、前沢 RC 会場、水沢 RC 会場、水沢東 RC 会場を結び、総勢 109 名の出席で新しい形の IM を開催することができました。

北上会場より佐藤ガバナー補佐の開会点鐘で開会行事が始まり、花巻ホスト会場から伊藤ガバナーの挨拶で開会行事を閉会しました。基調講演は、菊池雄星選手や大谷翔平選手を育て上げた花巻東高校硬式野球部監督の佐々木洋氏より、「野球指導における人材育成」と題してお話をして頂きました。現在の教育現場は、パワハラに気を付けなくてはならず、生徒も呼び捨てに出来ない状況になっており、昔と違って指導が難しくなっているようです。青少年奉仕に携わる我々ロータリアンも、学校の様子をよく知っておくべきだと思います。また、高校卒業後の進路も明確にする事が重要であり、現在花巻東高野球部は、プロ野球、大リーグ、有名大学、企業就職と卒業後の選択肢を沢山持っているとの事で、入学希望者が多くなっている状況のようです。私たち中小企業経営者も明確な出口戦略を考えて経営しなければならないと痛感させられました。講演終了後、伊藤ガバナーより講評を頂き、北上会場から佐藤ガバナー補佐の開会点鐘で終了しました。

第2分区のIMは第2520地区で今年度最初の開催で、Zoomを活用し6会場を結ぶ新しい形での開催でした。全てが順調に行ったかどうか、今後の検証が必要です。しかしながら、このような形でも開催できる事を立証出来たと思っております。今回のIMは、オンラインを活用したロータリー活動のロールモデルとなることも目的の一つでした。分区内には既にオンライン例会に挑戦しているクラブ、また1月の開催に向けて準備をしているクラブもあります。コロナ禍だからとさまざまな行事の開催を諦めるのではなく、どうしたら開催出来るかをまず考えるべきだと思います。今回の開催にご尽力頂いた関係各位に心から感謝を申し上げ、第2分区のIM報告と致します。



開会行事 (ホスト会場)



地区役員紹介



講演会



講演会 (ホスト会場)



北上 RC 会場



岩谷堂 RC 会場



前沢 RC 会場



水沢 RC 会場



水沢東 RC 会場

REPORT

「鈴木俊一ガバナーエレクト激励会」の報告

次期筆頭副代表幹事 高橋 玲二（仙台南RC）

本来であればアメリカ・フロリダ州オーランドで開催される国際協議会へ出席の壮行会が開催される予定でしたが、コロナ禍によりそれが令和3年2月にオンラインでの開催となったため、先日、令和2年12月6日（日）16時からホテルメトロポリタン仙台に於いて「鈴木俊一ガバナーエレクト激励会」が開催されました。

最初に「君が代」、続いてロータリーソング「奉仕の理想」を心の中で斉唱し激励会に入りました。そして、国際ロータリー第2520地区の伊藤智仁ガバナーから挨拶と鈴木俊一ガバナーエレクトへの激励の言葉をいただきました。その後に、伊藤智仁ガバナーより鈴木俊一ガバナーエレクトへ活動資金の目録が贈呈されました。

そして次に鈴木俊一ガバナーエレクトより激励会開催の御礼と次期ガバナーとしての意気込みを感じる挨拶をいただきました。



鈴木俊一ガバナーエレクト夫妻

その後、鈴木賢直前ガバナーからも鈴木俊一ガバナーエレクトへの激励の言葉をいただき、乾杯の発声で懇談会に入りました。

懇談会は終始和気あいあいとした雰囲気の中、天沼久純ガバナーノミニーのことばでお開きとなりました。

今回、「鈴木俊一ガバナーエレクト激励会」へ多くのクラブの皆様に参加をいただき激励をいただいたこと、そしてコロナ禍の中で主催していただきました伊藤智仁ガバナーをはじめ、ガバナー事務所スタッフの皆様には心から感謝申し上げます。

大船渡西ロータリークラブ創立50周年記念式典

創立50周年記念実行委員長 門田 崇

大船渡西ロータリークラブの創立50周年記念式典は11月21日（土）大船渡プラザホテルで開かれた。新型コロナウイルスの感染拡大により、これまで延期を余儀なくされていた式典ではあったが、この日は会員や関係者、来賓など約50名の内輪で限られたメンバーで行われた。

開会に先立ち当クラブの40周年から現在までの10年を振り返るビデオを上映し、平成23年の東日本大震災で被災した大船渡に世界各国のロータリアンが復興支援に訪れてくれた事に対する感謝の気持ちを改めて胸に刻んだ。

在籍物故者への黙祷を捧げた後、主催者代表の式辞、高木会長のあいさつの後、スポンサークラブである大船渡ロータリークラブへの感謝状贈呈に続き、当クラブの発展に貢献した会員の表彰、40周年以降のバスト会長には感謝状が贈られた。

次に記念事業が発表され今年3月に栃木県の宇都宮東ロータリークラブと共同で三陸町綾里地区緑地広場にサクラを植樹した事、気仙にゆかりのある書家・金澤翔子さんが揮毫した「共に生きる」の石碑を大船渡駅前に建立した事、さらに同書を今春4校が統合となった大船渡市立第一中学校に寄贈した事などが報告された。

その後、伊藤ガバナーから頂いたメッセージが読み上げられたのに続き、新沼大船渡ロータリークラブ会長より祝辞を頂き、来賓の戸田市長からは、「今後も人道的な奉仕と地域の為にさらなる協力をお願いしたい」と祝辞を頂いた。

新型コロナウイルスの感染防止の為、式典後に予定していた祝賀会は急遽中止となったが、会員一同は式典を通じて奉仕の精神を大切に活動していく事を誓い合う式典となった。



Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2021 年 1 月号

発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

コロナ禍のなか、それぞれのロータリークラブは、創意と工夫を凝らして必死にクラブ活性化の糸口を探っておられる状況であると思います。12月に入ると、クリスマス例会について、そもそも開催するのか、家族・子供たちも参加させて良いのか、どのようなやり方で開催すれば良いのか、など正解のない世界で議論が繰り返されたのではないのでしょうか。となく、このような、クラブ内のことに関心が限定されてしまいがちな時期ですが、私の所属する第2770地区には、引き渡しの式典も含め、リモートによるやり取りだけで、現地への訪問なしに、集中治療室に設置する医療機器を地区補助金を使ってモンゴルに寄贈したクラブがあります。さいたま大空ロータリークラブという米山・財団学友が中心メンバーであるクラブです。このクラブが国際性豊かなクラブであったからこそ実現できたという面もあるのかも知れませんが、大いに見習うべきことであると思います。海外の姉妹クラブとの間で、リモートを使って近況報告をすること、例会の様子を伝え合うことなども意義のあることだと思います。

会員増強も、人との接触の機会が減っている現在、思うに任せない状況が続いていることと思います。こんなときこそ、SNSを活用して、クラブの情報などを地域に積極的に流していくことは重要だと思います。地区バイク同好会のツーリングの様子やクリスマスプレゼントを配るサンタの姿をYouTubeで流してみたいと思っています。皆様とともに、いろいろなアイデアを出し合って、ロータリーの輝きが失われないように活動していきましょう。多様な職種の人間が集まり、様々なノウハウを持つ我々ロータリアンには、今こそ、期待される役割があるように思います。

第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 浅水 尚伸（越谷南 RC）

新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見えないまま、年末年始にかけ増加傾向の様子を呈し、クラブの例会もなかなか思うように運営できない状況にあります。

しかし、今まで経験したことのないコロナ禍の中でも、我がロータリアンは多くの財団の資金を活用し、医療従事者への支援、又医療機器などを提供し活発な活動を行っていることに敬意を表すると共に、その活動を広く人々に知って頂きたいと考える次第であります。

さて国際ロータリーにおいては、2016年の規定審議会によってクラブ委員会に「公共イメージ委員会」等の設置推奨がクラブ定款に記載されることとなりました。実際、ロータリーは一般社会において認知度がまだまだ低く、どのような活動をすれば認知度を上げることができるのかを、かなり絞り込んで地区及び各クラブで考えていかなければなりません。今までの所、公共イメージとしてソーシャルメディアへの投稿、ラジオ、テレビ等への働きかけを以前より活発に進めております。具体的には、ポリオ根絶に対しNHKへの積極的な対応、ロータリアン個々においても、ボランティア活動を逐一フェイスブック等にアップしたりしております。私としては、玉石混交ではありますがユーチューブがこれからのアイテムとして説得力があると考えています。

また、「公共イメージ」を高める方法として一番取り組みやすいのは、世界ポリオデーに因んだイベントや活動を地区単位、クラブ単位で行なっては如何でしょうか。ロータリアン、ローターアクト、インターアクト、青少年交換学生、米山奨学生が参加することにより、地域社会の方々に対してもロータリーの認知度も上がります。RIに登録された世界ポリオデーのイベント数では、ブラジル 575 件、アメリカ 348 件、ナイジェリア 187 件、メキシコ 164 件、ベネズエラ 157 件、日本は 14 件となっております。まだまだ日本国内におけるポリオの意識がこのように低い現実を知り、次年度はぜひ世界ポリオデーを活用したイベントの開催を進めて頂きたいと思います。

今までは他のボランティア組織に比べ、アピールが控えめでも地道に成果を上げれば地域社会での参加者が増えてきておりましたが、現在は世の中の変化に適応し積極的に発信する事が急務と痛感しております。

ただ、現在のコロナ感染拡大の最中において行動の制限など閉塞感が拭えませんが、こういう時こそ各クラブにおいて真剣に考えて頂きたい視点であります。時には、イメージ戦略、マーケット戦略の専門家などのノウハウを見聞きしながら、コロナが落ち着いた時にすぐ行動できるように具体的なアイディアを出し合えば、さらなる進化が待っていることと確信しております。

第1地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 保延 輝文（石岡 RC）

コロナ禍の国際奉仕活動

第1分区 盛岡ロータリークラブ

国際奉仕委員長 岡村 弥



病院前の様子

盛岡ロータリークラブでは、昨年度よりラオス国カーシー郡立病院への支援に取り組んでおります。昨年度の医療器具支援プロジェクトに続き、今年度は病院支配下のバーンチェン小病院の生活用水用井戸設置プロジェクトを実施すべく準備を進めて参りました。しかし、コロナウィルスの世界的な感染拡大により、昨年度

の様に現地に赴き事業の実施状況をモニタリング（監査）する事が極めて困難な状況（一般外国人は、ラオス入国のビザ発給停止措置）が続いておりました。

しかし、2020年10月5日に、昨年からお世話になっている現地協力者である西澤氏ご夫妻から、タイに在住していたラオス人である奥様が仕事の関係で二週間の隔離期間を経てラオスに入国するとの情報をいただきました。これにより、今年度のプロジェクトのモニタリングが可能になりました。ラオスにはロータリークラブが存在しないという状況の中、

現地の善意の協力者にモニタリングをしていただける事で、事業を進められる事になりました。この事に心から感謝しながら、プロジェクトの成し遂げを目指してまいります。



設置する予定の2,000リットルの水タンク

クローズアップ "Service" (奉仕) Vol.2

東日本大震災で得た教訓 私たちが出来る防災対策

第3分区 陸前高田ロータリークラブ

幹事 柴田 見

陸前高田ロータリークラブは、東日本大震災を経験し甚大な被害が出た地域にあります。ここに、ボランティアや観光等で他県から来訪する方が多い中、「防災」をテーマとした事業を考え、「標高看板」の設置を行いました。



大津波を経験している私たちだからこそ考えられた事業ですが、陸前高田に様々な方が来訪する中で、今、

立っている場所が海拔何メートルの高さなのかを知ること、災害が起きた場合に、自分自身の危機管理や避難時の判断材料にして頂きたいと思いました。多くの方が分かりやすく、目につくようなデザインをメンバーで協議し、市内小中学校と地域コミュニティセンターの21か所に設置させて頂きました。

高田松原の松林再生事業は、津波教育の一環として植樹から始まり、草刈り作業等、地域貢献活動を積極的に行いました。本年の草刈り作業についてはコロナ禍により、ボランティアの方々が来られない状況が続く、私たちロータリークラブのメンバーによる奉仕事業とし、数回開催いたしました。当クラブはこれからも、地域に必要とされるロータリークラブを目指し、事業を通し地域貢献に邁進してまいります。



新入会員紹介

							
盛岡 RC 三浦 義孝 2020.11.13 入会 小児科医	盛岡 RC 三沢 直樹 2020.11.13 入会 高層建築	盛岡北 RC 佐々木 政 聡 2020.11.18 入会 印刷業	盛岡西北 RC 小田嶋 達 浩 2020.11.11 入会 土地家屋調査士	釜石 RC 伊 瀬 幸 郎 2020.11.24 入会 電気器具小売	石巻西 RC 本 多 賢 浩 2020.11.10 入会 宗教	仙台冠 RC 庄 子 淳 介 2020.11.11 入会 自動車修理業	名取 RC 渡 辺 亨 2020.11.19 入会 司法書士

退会会員報告

クラブ	氏 名	職業分類	退会日
盛岡北	藤 村 孝 史	造園工事	11/30
古 川	山 田 雅 裕	電力事業	9/30
仙台北	中 村 邦 嘉	損害保険	11/30
仙台東	沼 倉 公 憲	総合建設業	11/30
白 石	佐 藤 聡 一	茶販売	11/30

訃 報



釜石東 RC
下河原 義 夫
2020年10月7日ご逝去(享年88歳)
1996年7月1日入会

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

寄付報告(11月)

■ロータリー財団

寄付分類	所属クラブ	氏 名
メジャードナー	盛岡滝ノ沢 RC	山 口 淑 子
マルチプル・フェロー	盛岡南 RC	細 川 嘉 造
	盛岡南 RC	菊 池 正 敏
	盛岡南 RC	天 沼 久 純
	盛岡南 RC	川 村 久 史
	盛岡南 RC	鈴 木 博
	盛岡南 RC	佐々木 和 彦
	盛岡西北 RC	齊 藤 莞 爾
	盛岡西北 RC	小 泉 寛
	盛岡西北 RC	小野寺 章三郎
	盛岡西北 RC	北 田 義四郎
	盛岡西北 RC	瀬 川 敦 義
	花巻 RC	佐々木 史 昭
	宮古東 RC	晴 山 洸
	石巻東 RC	阿 部 俊 範

寄付分類	所属クラブ	氏 名
マルチプル・フェロー	岩出山 RC	荒 谷 久 弥
	仙台 RC	大 槻 昌 夫
	仙台西 RC	深 田 一 弥
	仙台北 RC	鎌 田 一 夫
	名取 RC	橋 浦 寛
	柴田 RC	佐 藤 隆
ポールハリス・フェロー	盛岡南 RC	阿 部 和 美
	盛岡南 RC	遠 藤 大 介
	盛岡南 RC	村 上 功
	盛岡南 RC	高 橋 貞 雄
	盛岡西北 RC	藤 澤 克 典
	盛岡西北 RC	樹 田 裕 之
	盛岡西北 RC	及 川 忠 人
	盛岡西北 RC	佐 藤 保
	盛岡西北 RC	佐 藤 吉 和
	盛岡西北 RC	田 村 真 実

寄付分類	所属クラブ	氏 名
ポールハリス・フェロー	盛岡西北 RC	古 澤 伸
	石巻東 RC	齋 藤 芳 晴
	石巻東 RC	鈴 木 長 吉
	丸森 RC	渡 辺 政 巳
	丸森 RC	横 山 博 昭
	柴田 RC	野 口 敬 志
	柴田 RC	坂 元 隆 夫

■米山記念奨学会

寄付分類	所属クラブ	氏 名
米山功労者 マルチプル	仙台 RC	吉 田 仁 秋
	仙台西 RC	佐々木 龍 快
	仙台西 RC	深 田 一 弥
米山功労者	釜石東 RC	中 塚 吉 徳
	仙台北 RC	沼 倉 和 彦
米山功労クラブ	柴田 RC	渡 辺 真 康
		名取 RC

お知らせ

釜石 RC の幹事が替わりました。

<新幹事> 田 中 誠

松島 RC の幹事と例会場が替わりました。

<新幹事> 郷 家 茂 樹

(※副会長兼務)

<例会場> パ レ ス 松 洲

電話番号 022-354-2106

ガバナーエレクト事務所
からお知らせ

地区ホームページに「ガバナーエレクト事務所からお知らせ」を新設。2021-2022年度に関する情報を掲載。会長エレクトの皆様はご確認ください。

2021-22 年度 地区補助金申請について

①補助金管理セミナーへの出席

→今年度補助金管理セミナーは中止となりましたので、第2520地区ホームページの「地区ロータリー財団セミナー資料(PDF)」を必ずご確認ください。

*特に、資料 33 ページ【補助金申請にあたっての主な注意点】のご確認をお願いいたします。

②年次寄付「0」クラブはすべての財団補助金プログラムに参加できません。

③プロジェクト費用のうち、クラブ(支援クラブ等を含む)負担は地区補助金と同額見当が望ましい(事業内容により審査します)。

④申請を希望するクラブは、ガバナーエレクト事務所(仙台)にご連絡ください。申請書を送付いたします。

⑤締切 2021年2月末日、エレクト事務所必着。

2021-22年度 ロータリー財団委員長

小野寺 則 雄



2520地区

2020-2021年度行事予定表(1・2月)

	日 程	行 事		場 所
1月	9日(土)	米山記念奨学生選考試験	宮城	戦災復興記念館
	16日(土)	米山記念奨学生選考試験	岩手	アイーナ
	24日(日)	RIJYEM 会議「ロータリーと危機管理」(対面式+ ZOOM 併用)	東京	A) 対面会議: AP 日本橋 B) ZOOM 会議
2月	1日(月)~ 11日(木)	国際協議会		(バーチャル (オンライン))
	6日(土)	《中止》水沢 RC 創立 60 周年記念式典		
	13日(土)	RLI 研修パート II		オンライン
	14日(日)	諮問委員会 (国際協議会報告)	宮城	仙台国際ホテル
	14日(日)	2021-2022 年度地区チーム研修セミナー	宮城	仙台国際ホテル
	14日(日)	米山記念奨学生歓送会	宮城	江陽グランドホテル
	20日(土)	RLI 研修パート II		オンライン
	21日(日)	第7分区分 IM (ホストクラブ: 仙台青葉 RC)	宮城	ホテルメトロポリタン仙台
	27日(土)	ロータリーアクト後期会長幹事会	宮城	パレットおおさき (予定)

奨学生レポート

2020-2021年度
グローバル補助金奨学生

渡 邊 英 理 奈

宮城県出身。コロンビア大学国際公共政策大学院で国際関係論を専攻。
ホスト地区: ニューヨーク/ホスト RC: Metro New York City

10月中旬から11月初旬にかけて、ミッドタームという中間試験がありました。試験といってもタイプは様々です。2000字~3000字のレポート提出が課される授業や、チートシートと言われるカンニングペーパー持ち込みOKのテストもありました。チートシートはアメリカではよくあるテスト形式のようで、紙1枚に大事な要素をまとめ、それをテスト中に使用します。重要なポイントを絞り込み、まとめるという作業自体も良い復習になり、勉強になりました。

私のいる大学院は学生団体の活動がとても盛んです。その数は約50ほど。私も UN Association という国連関係のイベントを運営する団体に所属しております。11

月はそうした団体の幹部ポジションの選挙の季節です。各団体の幹部のポジションは選挙により決められます。私も幸い UN Association の幹部ポジションに当選し、イベント運営の責任者となりました。来年1月から活動が始まります。

現在のところ、対面とオンラインのハイブリッドでの授業体制に変更はありません。ただ、ニューヨーク市内でコロナの陽性率が増加しており、市内の中高は完全閉鎖、来月からはまたロックダウンが始まるのではないかと噂されております。大学内でも感染事例が少しずつ出始めております。例年、ミッドタームの時には多くの生徒が深夜まで図書館で勉強し、席が見つからないと聞きましたが、今年は席も空席だらけ。図書館自体も21時には閉館です。早く日常の活気ある大学生活に戻ることを祈るばかりです。(2020年11月29日報告)



パトラー図書館
(コロンビア大学)

編集後記

明けましておめでとうございます。この編集後記を書いている12月は、全国で新型コロナウイルス感染症拡大の第3波となり、当地区も例外ではなく、特に岩手でも急速に感染者が増加している状況です。インターシティミーティングの開催がこれから本格化する時期での蔓延は、開催の是非の判断を難しくさせておりますが、この機会に上手くいかなくても良しとして、さまざまなツールを使った開催を模索してみたいかがでしょうか? 案外できたりするかも。見識のある会員の掘り起こしや気づきにも繋がって、共に試行錯誤して行うことでロータリーの友情や共感を醸成する事にも繋がるのではと考えます。

ロータリー会員の皆様は百戦錬磨の方が多くと思いますが、やってみてわかることがまだまだありそうです。固定観念にとらわれず“やってみれば”、新たな例会・ゲストスピーチ・インターシティミーティング等の開催の在り方の発見に繋がり、リアルとバーチャルの上手な利用で更に有意義な活動・普段できない交流もできるかもしれません。叩けよ、さらば開かれん。

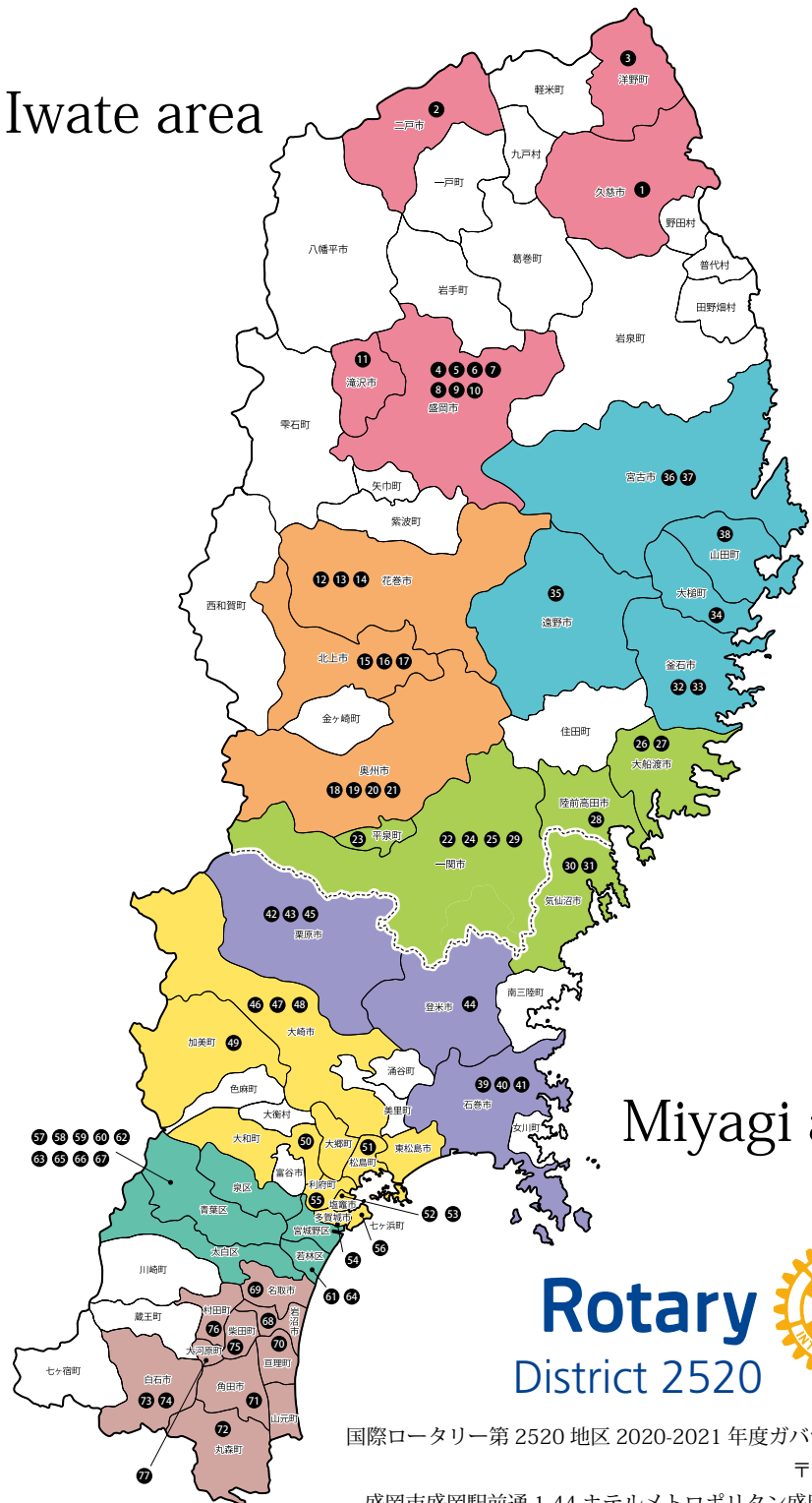
旧年中のご協力に感謝致しますとともに、本年も、引き続きよろしくお願いいたします。

月信編集長 吉 田 和 洋

第一分区	会員数	第五分区	会員数
1 久慈 RC	27	39 石巻東 RC	37
2 二戸 RC	45	40 石巻西 RC	28
3 種市 RC	19	41 石巻南 RC	24
4 盛岡 RC	78	42 栗駒 RC	13
5 盛岡北 RC	39	43 築館 RC	20
6 盛岡西 RC	23	44 佐沼 RC	51
7 盛岡南 RC	50	45 若柳 RC	27
8 盛岡東 RC	26		
9 盛岡中央 RC	23	第六分区	
10 盛岡西北 RC	48	46 古川 RC	43
11 盛岡滝ノ沢 RC	10	47 古川東 RC	43
		48 岩出山 RC	13
		49 加美 RC	16
第二分区		50 大和 RC	5
12 花巻 RC	31	51 松島 RC	7
13 花巻南 RC	34	52 塩釜 RC	35
14 花巻北 RC	43	53 塩釜東 RC	11
15 北上 RC	39	54 多賀城 RC	32
16 北上西 RC	19	55 利府 RC	15
17 北上和賀 RC	22	56 ケー浜 RC	14
18 岩谷堂 RC	14		
19 前沢 RC	15	第七分区	
20 水沢 RC	17	57 仙台 RC	130
21 水沢東 RC	29	58 仙台平成 RC	10
		59 仙台青葉 RC	54
第三分区		60 仙台冠 RC	22
22 花泉 RC	11	61 仙台レインボー RC	14
23 平泉 RC	12	62 仙台南 RC	46
24 一関 RC	18	仙台南-白石R衛星	15
25 一関中央 RC	15	63 仙台北 RC	63
26 大船渡 RC	35	64 仙台東 RC	57
27 大船渡西 RC	45	65 仙山西 RC	35
28 陸前高田 RC	18	66 仙台北 RC	52
29 千厩 RC	25	67 仙台宮城野 RC	26
30 気仙沼 RC	27		
31 気仙沼南 RC	41	第八分区	
		68 岩沼 RC	33
		69 名取 RC	44
		70 亶理 RC	16
		71 角田 RC	19
		72 丸森 RC	16
		73 白石 RC	18
		74 白石北 RC	11
		75 柴田 RC	19
		76 村田 RC	15
		77 大河原 RC	33

(11 月末現在)
会員数合計 2,229

Iwate area



Miyagi area

Rotary
District 2520



国際ロータリー第 2520 地区 2020-2021 年度ガバナー事務所
〒020-0034
盛岡市盛岡駅前通 1-44 ホテルメトロポリタン盛岡本館 4 F
TEL : 019-654-0550 FAX : 019-654-0551
E-mail:ri2520@r4.dion.ne.jp

表紙デザインについて

心象スケッチ ~ 賢治月ごよみ ~

1 月

岩手・花巻が生んだ、童話作家・詩人の宮沢賢治。その作風を育んだイーハトーブの四季折々の風景を、賢治の月毎の出来事とともに紹介します。

撮影／高橋弘喜



少年時代から浄土宗に、長じては法華經に帰依する賢治の宗教観と死生観が、「生殺与奪」をテーマとするこの作品のルーツとなっていることは想像に難くない。
獺師小十郎は熊を撃って生計を立てているが、小十郎と熊の間には敵対関係はなく、熊の言葉を理解する小十郎はむしろ熊の理解者であり、その共存関係は自然の摂理である。だが人間である小十郎は熊を殺すことに罪悪感を持って生き、やがて山に入る気力を失った時、熊によって命を落とす。それもまた自然の摂理なのか。自然は、われわれに大きな恵みをもたらすとともに、時として非情である。
山には「山の神」があり、全てはその差配なのだろうか。花巻には「山の神」という地名、そして温泉が存在する。